

平成 29 年度 大学院工芸科学研究科博士前期課程 学位記授与式
学長告辞

今日の佳き日、目出度く学位記授与式を迎えられた皆さんに対し、京都工芸繊維大学を代表して心からお祝い申し上げます。また、皆さんをこれまで、支え、育ててこられたご家族の皆様をはじめ、本日駆けつけていただいた関係者の方々に対し、心からお祝いを申し上げたいと思います。私たち京都工芸繊維大学も今まさに、君たち修了生とともに、世界に羽ばたき、飛翔しようとしています。

京都工芸繊維大学は、近年、強い個性を有する工科系の国立大学として注目を集め、急速に社会的な認知度を上げています。2013 年には文部科学省「知の拠点整備事業COC」、つづいて2014年には「スーパーグローバル大学創生支援事業SGU」、さらに2015年には「COC+事業」に採択されました。

また、リクルート進学総研が高校生を対象に行った「進学ブランド力調査」では、ここ数年来、志願度も上昇し、日経キャリアが行った全上場企業対象の「企業の人事担当者から見た大学のイメージ調査」、つまり就職力ランキングにおいて本学卒業生の実力は、日本の国公立大学800校中総合17位、独創性において第7位の評価を得ています。朝日新聞の調査では、本学の学生の勉強時間の長さはベスト10に入っています。また、全日本学生フォーミュラ大会において2016年には総合優勝の栄誉に輝きました。過去5年間に優勝2回、準優勝1回、5位が2回と優れた成績を収め、本学学生の技術力の高さが示されています。

本学の教育方法は、日本機械学会教育賞、日本建築学会教育賞を受賞したことなどにみられるように、実践的な教育方法が学会や社会からも高く評価されています。我々の行っている大学教育の成果が社会から認められ、高校生からも企業の人事担当者からも高い評価が得られていることは大変喜ばしいことです。

2012年には、本学は文部科学省から機能強化事業を推進する大学に抜擢され、ユニット招致と呼ばれる方法でハーバード大学やスタンフォード大学、あるいはスイスのETHや英国のRCAといった海外の有力大学から講座やグループを招聘し、共同研究や共同教育を行っています。また、タイや英国にオフィスを開設し、海外インターンシップや交換留学の拠点として活用しています。今年4月から、タイのチェンマイ大学とジョイント・ディグリー制度によって新しい大学院専攻を開設し、外国人学生を本学の大学院生として受け入れ、共同教育を実施します。バンコクでは、ラジャマンガラ工科大学およびキングモンクート工科大学産学連携センターに共同研究の拠点を開設しました。日本国内においても、京丹後市サテライトキャンパスや綾部地域連携室が活発に活動していますが、昨年、福知山市にも福知山キャンパスを開設しました。

こうした大学活動の盛り上がりと活性化を好機とし、私たちは世界に冠たる大学になろうとしています。修了生の皆さんも社会に出ても、海外で活躍できる人材、現場でリーダーシップを発揮できる人材、我々が「テックリーダー」と呼ぶ人材として大いに活躍していただきたいと考えています。

我々理工系大学における知の体系は、論理的思考や科学的思考から形成されていますが、そもそも、技術、工学、ものづくりと知的活動はどのような関係にあるのでしょうか。

興味深いことに、ギリシャの昔、プラトンやアリストテレスといった哲学者は、自らを建築家になぞらえて、哲学を知の建築とみなそうとしました。また、ユークリッドは幾何学を5つの公理に基づく厳密で堅固な建築にしようとしていました。幾何学は諸科学の基礎として、自然から分離した純粋にして厳密な知の体系と考えられたのです。西洋の文化的伝統は、知の建築を建設しようとする野心に満ちています。物理学や経済学など、個別諸科学の基礎としての数学は実行上有用であるばかりでなく、西洋における文化的危機を乗り越えるために、合理的で論理的な知の構築物が企画されてきたことは重要です。

一方、近年、日本では反知性主義という言葉が聞かれるようになり、社会の病理を表す言葉として流通しています。例えば、学生は本を読まなくなった、大学は就職予備校に成り下がった、といった知的な活動とは反対の現象をさす意味に使われています。反知性主義とは「実証性や客観性を軽視し、自分に都合のよい解釈をする身勝手な態度」であり、知性が備えるべき客観的検証を行わず、また公共の場における対話を拒否する独りよがりな立場です。このような批判にもかかわらず、人々の感情を煽るポピュリズムにおいては、「本ばかり読んでいる学者」の批判や知性を軽蔑する言動が、一部の人から支持を得ています。それはなぜか。

知性を批判し、揶揄する風潮の背景には、知性の持つ狭量さ、窮屈さ、そして人間味を欠いた知的権威主義への嫌悪が潜んでいるからです。

では皆さんが実社会において、もっとも留意し、また自戒しなければならないことはなんでしょうか。それは、部分的で狭い範囲の論理の整合性に注力するあまり、全体的な適正を欠いた議論から生み出される結論です。たとえ規則や法律にのっとっていても、個人個人が善意の努力を積み重ねても、社会全体としては誤った方向に向かっている事柄があります。特に災害や事故の原因を調べていくと、それまで当然のことのように思っていた事柄も、規則を超える深い考察が欠けていたことに気づかされます。

近年の研究不正や事故処理に関する事例を顧みるに、日本社会が参照すべき基本的な視点は、インドの賢人、マハトマ・ガンジーが提唱した「七つの社会的罪」ではないでしょうか。1925年にYoung Indiaに掲載された七つの社会的罪とは、

- 1 理念なき政治
- 2 労働なき富
- 3 良心なき快樂
- 4 人格なき学識
- 5 道徳なき商業
- 6 人間性なき科学
- 7 献身なき信仰

の七つです。特に、最高の学識をもって、社会で活躍しようとする皆さんに申し上げたいのは、「人格なき学識」は社会的罪である、同じく「人間性なき科学」は社会的罪であるというメッセージです。これらのメッセージを深く心に刻み、これからの人生を送っていただきたいと思います。

皆さんが活躍される人間社会は、複数の価値観が併存する多様性が特徴であり、単一の真理を求める科学的思考法からみれば、時には曖昧であり、時には揺れ動き、明快な結果が得られないこともあります。しかし人間社会の多様性と豊かさを単一の解答に押し込めるような短絡した思考は慎むべきです。実証性や客観性を軽んじ、自分の都合の良いように世界を解釈し、社会の現実を矮小化し、歪めるような反知性主義的主張には十分に留意していただきたいと思います。

科学技術の進展の速度は、20世紀を通じて勢いを増し、人間のコントロールを超えるまでに至りました。人間性なき科学とは、科学技術の進展が人間の幸福を置いてきぼりにして自動運動に陥っている状態を意味します。それを主導し、支えている科学者、技術者の知識や技能は、知識のための知識となり、技術のための技術となり、人間の身体や感情を伴わない人格なき学識に過ぎなくなっています。こうした盲目的で科学技術に隷属するような研究活動は、グロテスクであるばかりでなく、危険であることに気がつかなければなりません。今一度、本学における教育研究活動は、「ヒューマン・オリエンテッド・テクノロジー」の理念のもとに実施していることを思い起こしていただきたいと思います。

私たちは、これからも皆さんの活躍を応援し続けます。また皆さんが卒業後も大学を愛することを心から願っております。母校への愛情は、自らの人生とこれからの活動に自信と誇りを与え、より高い課題に取り組む勇気を与えてくれます。皆さんは、私たち教育者の誇りであり、皆さんの活躍は、京都工芸繊維大学が世界一の大学であるということを世界に示す証しとなります。近い将来、再び皆さんと出会える日が来ることを楽しみにしています。

平成29年3月24日
京都工芸繊維大学長
古山 正雄